

2016年3月期 第2四半期(累計)
(2015年4月1日～2015年9月30日)

決算参考資料

2015年11月11日



東証・名証1部上場 コード:9900

設立:1970年3月

資本金:71億7810万円



目次

1. 連結対象企業の事業内容	—————	P2
2. 店舗展開の状況	—————	P4
3. 2016年3月期第2四半期(累計)の 業績概況	—————	P6
4. 財政・キャッシュフローの概況	—————	P6
5. 2016年3月期第2四半期(累計)の 業績・取組みについて	—————	P7
6. 2016年3月期の通期業績予想	—————	P8

1. 連結対象企業の事業内容

○ 連結子会社の対象範囲は10社であります。

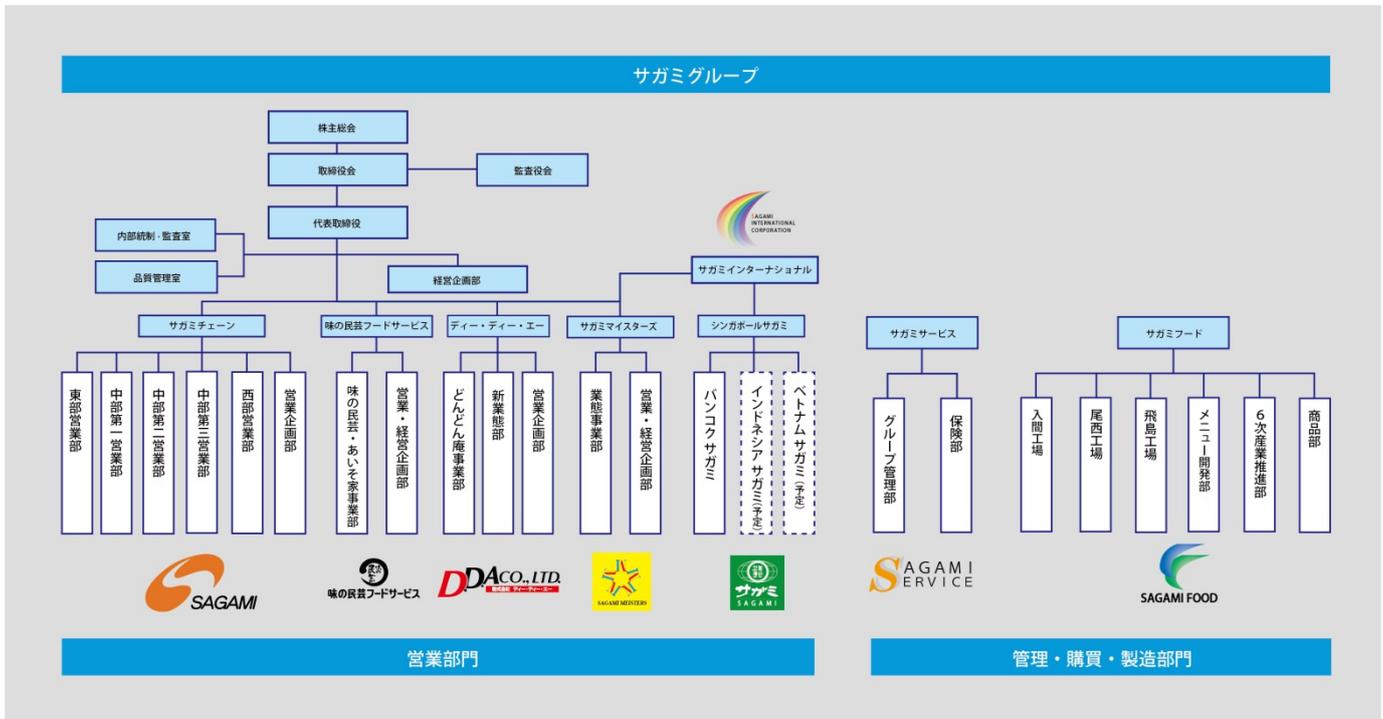
[連結子会社]

名称	住所	資本金又は 出資金	当社の 出資比率	事業の内容
味の民芸フードサービス株式会社	立川市	50,000,000円	100.00%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社ディー・ディー・エー	名古屋市	50,000,000円	100.00%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミマスターズ	立川市	10,000,000円	100.00%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミサービス	名古屋市	10,000,000円	100.00%	保険代理業 店舗設備のメンテナンス業務 不動産賃貸業務
株式会社サガミフード	名古屋市	70,000,000円	100.00%	食材の仕入・製造業務 飲食店の経営 輸出入業務
HONG KONG SAGAMI CO.,LTD.	Hong Kong	320,000香港ドル	100.00%	海外事業(東アジア)の統轄
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	Singapore	3,500,000米ドル	100.00%	海外事業(ASEAN)の統轄
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	Thailand	4,000,000バーツ	69.09%	飲食店の経営
NADEERA GLOBAL CO.,LTD.	Thailand	600,000バーツ	49.00%	投資事業
サガミインターナショナル株式会社	名古屋市	10,000,000円	100.00%	海外事業の統轄

○ 主な海外統括会社および事業会社の設立日

HONG KONG SAGAMI CO.,LTD.	----2012年10月22日
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	----2013年06月03日
BANGKOK SAGAMI CO.,LTD.	----2013年10月17日
サガミインターナショナル株式会社	----2014年04月01日

○ サガミグループ組織図



○ グループ会社について

- ◆ 株式会社サガミチェーンは、主に和食麺処サガミ業態を経営しております。
- ◆ 味の民芸フードサービス株式会社は、主に味の民芸業態、あいそ家業態を経営しております。
- ◆ 株式会社ディー・ディー・エーは、主にどんどん庵業態、製麺大学業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミマイスターズは、主に水山業態、JINJIN業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミサービスは、主に管理業務、保険業務を行っております。
- ◆ 株式会社サガミフードは、主にメニュー開発、食材の仕入・製造、6次産業推進を行っております。
- ◆ SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.は、主にASEAN地域での事業の統轄を行います。
- ◆ サガミインターナショナル株式会社は、主に海外事業展開の統轄を行います。

|| 2. 店舗展開の状況

	2015年 3月期	2016年3月期 第2四半期			2016年 3月期計画		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麵処サガミ	128	—	—	128	3	—	131
さがみ庭 (SC店)	2	—	—	2	—	1	1
さがみ庭 (御器所店)	1	—	—	1	—	—	1
盛賀美	2	—	1	1	—	1	1
さがみ	0	1	—	1	1	—	1
味の民芸 (FC店舗含む)	56	—	—	56	—	3	53
あいそ家	10	—	1	9	5	1	14
あいそ家 Kitchen	1	—	—	1	—	—	1
どんどん庵	37	—	2	35	1	8	30
どんどん庵 (どん呑み対応店)	1	1	—	2	5	—	6
まるど食堂	2	—	—	2	3	1	4
鹿山食堂	1	—	—	1	—	—	1
製麺大学	4	—	—	4	—	1	3
水山 (FC店舗含む)	6	—	1	5	2	2	6
びんむぎ	1	—	—	1	—	—	1
JINJIN	4	—	1	3	—	1	3
Dela PASTA Kitchen	1	—	—	1	—	—	1
ASIAN LEAF	1	—	—	1	—	—	1
サガミ村	2	—	—	2	—	1	1
陣屋サガミ	1	—	—	1	—	—	1
フランチャイジー店舗	5	—	—	5	—	—	5
その他 国内	0	—	—	0	4	—	4
海外 上海 (FC店舗)	3	—	1	2	1	—	4
海外 タイ	2	—	—	2	3	—	5
海外 インドネシア	1	1	—	2	2	—	3
海外 その他	0	1	—	1	4	—	4
合計	272	4	7	269	34	20	286

* 業態毎の店舗展開の詳細は次頁に記載しております。

* 2015年9月30日現在

○ 業態毎の店舗展開について

<国内>

- ◆ 和食麵処サガミ業態に当期間での店舗数の増減はありません。
なお、当第2四半期末の店舗数は128店舗であります。
- ◆ さがみ業態では、2015年4月に「盛賀美 青山店」を「さがみ 青山店」に業態転換いたしました。
当店舗は、タニタ食堂の日替わりメニューを提供する初の外食チェーン店であり、
高まる健康需要へのアンテナショップと位置付けております。
- ◆ 味の民芸業態に当期間での店舗数の増減はありません。
なお、当第2四半期末の店舗数はFC店舗を含め56店舗であります。
- ◆ あいそ家業態では、2015年8月に「あいそ家 半田店」を閉店いたしました。
これにより、あいそ家業態はあいそ家 Kitchen業態を含め10店舗となりました。
- ◆ どんどん庵業態では、2015年7月に「どんどん庵 名駅西店」をどん呑み対応店に
転換いたしました。また、「どんどん庵 岡崎大前店」を閉店したことにより、どんどん庵業態は
どん呑み対応店を含め37店舗となりました。
- ◆ まるど食堂業態に当期間での店舗数の増減はありません。
- ◆ 水山業態では、契約満了により、2015年5月に「水山 土岐プレミアムアウトレット店」を
閉店いたしました。これにより、水山業態は5店舗となりました。
- ◆ JINJIN業態では、契約満了により、2015年8月に「JINJIN ecute大宮店」を閉店いたしました。
これにより、JINJIN業態は3店舗となりました。
- ◆ フランチャイジー店舗（丸源ラーメン3店舗、たい夢(たい焼き)2店舗）に当期間での店舗数の
増減はありません。
- ◆ その他、国内業態における当期間での店舗数の増減はありません。

<海外>

- ◆ 期間限定ではありますが、イタリア ミラノ万博(2015年5月1日から10月31日まで開催)に参加し、
日本館のフードコートに出店いたしました。当店舗では、サガミの看板メニューである
蕎麦や天ぷらを世界の方々に提供いたしました。
- ◆ 2015年5月に、インドネシアのショッピングモール「イオンモールBSD」に「サガミ SAGAMI」を
出店いたしました。これによりインドネシアの店舗は2店舗となりました。
- ◆ 2015年9月に、FC店舗「上海盛賀美 延安西路店」を閉店いたしました。
これにより、上海盛賀美は2店舗となりました。
- ◆ 海外展開につきましては、2020年までにASEAN地域での20店舗の展開を目標としております。

以上により、2015年9月末のサガミグループ店舗数は269店舗であります。

|| 3. 2016年3月期 第2四半期(累計)の業績概況

○ 連結ベースの経営成績

(単位:百万円/円)

	2015年3月期 第2四半期(累計)	当初計画 2015年5月12日発表	2016年3月期 第2四半期(累計)	当初計画 差異
売上高	12,708	12,500	13,079	579
営業利益	239	370	595	225
経常利益	275	390	624	234
当期純利益	131	230	388	158
一株あたり 当期純利益	5.25	8.68	14.67	5.99

*当初計画とは、2015年5月12日に発表した計画です。

○ 前期との比較について

主力業態『和食麺処サガミ』の同期間の既存店推移

	2015年3月期 第2四半期(累計)	2016年3月期 第2四半期(累計)	前年比
売上高	7,952百万円	8,333百万円	104.8%
客数	6,723千人	6,829千人	101.6%

|| 4. 財政・キャッシュフローの概況

○ 連結財政状態

単位 (百万円/%)	2015年3月期	2016年3月期 第2四半期 (累計)
総資産	17,978	18,785
純資産	11,443	13,510
自己資本比率	63.6	71.9

○ 連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円)	2015年3月期 第2四半期 (累計)	2016年3月期 第2四半期 (累計)
営業活動によるキャッシュフロー	234	307
投資活動によるキャッシュフロー	△271	△469
財務活動によるキャッシュフロー	△242	679

- 設備投資について
連結設備投資は410百万円(2015年3月期第2四半期累計実績413百万円)となりました。
- 減価償却費について
減価償却費は243百万円(2015年3月第2四半期累計実績234百万円)となりました。

5. 2016年3月期第2四半期(累計)の業績・取組みについて

○ 2016年3月期第2四半期(累計)の業績について

- ◆ 主力業態である「和食麺処サガミ」の2016年3月期第2四半期(累計)につきましては、天候に恵まれたこともあり、売上、客数ともに好調に推移いたしました。特に全店に展開した個店メニューはお客様の需要に適合し、客単価の上昇に貢献いたしました。
- ◆ 「和食麺処サガミ」の次に店舗数の多い、「味の民芸」につきましては、御膳カテゴリーを強化したメニュー変更が奏功し、売上、客数ともに非常に好調に推移しました。グループシナジーも大きく、営業利益が大きく伸びました。
- ◆ その他の業態につきましても好調に推移し、国内4事業会社が揃って、売上が計画に対し、上回る結果となりました。
- ◆ 連結、単体の利益面につきましては、上期の売上状況や景気状況を勘案した結果、新規出店を下期に移行したことで、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が当初の予定を大きく上回る見通しとなり、11月2日に業績上方修正を行いました。

○ 2016年3月期の主な取組みについて

- ◆ 2015年5月1日から10月31日まで、イタリアにて開催されたミラノ万博 日本館フードコートに出店いたしました。当店舗では、日本の食文化の一つでもある蕎麦の知名度向上を目指し、蕎麦を中心とするメニューの提供を行いました。売上は日本館出店7社の中で累計トップの高い評価をいただき、今後の海外展開構想に一石を投じる結果となりました。TV・新聞など、多くのメディアに取り上げていただき、国内事業においても、非常に大きなプラス効果となりました。
- ◆ ミラノ万博出店を記念し、2015年5月20日より、『3泊5日 ミラノ旅行プレゼント』企画をグループ各業態で告知し、実施いたしました。
- ◆ 主力業態の和食麺処サガミでは、2015年7月16日より『夏の大感謝祭』を実施いたしました。本年はミラノ出店記念メニューなど期間限定企画を中心とした第1弾、蕎麦が食べ放題となる第2弾、スクラッチによりクーポン券が当たる第3弾と分けて実施したことで、新規のお客様を含め、非常に多くのお客様にご利用いただくことができました。
- ◆ 味の民芸では、2015年8月28日より3日間、東京 代々木公園で行われた『うどん天下一決定戦2015』に出場いたしました。会場では2種類の冷やし肉すきうどんを販売し、来場者による投票の結果、出場15店舗中、第3位入賞という評価をいただきました。



5月に実施した
ミラノ万博出店記念企画ポスター



5月1日から10月31日まで
ミラノ万博日本館に出店いたしました



『夏の大感謝祭』の折込チラシ

6. 2016年3月期の通期業績予想

○ 連結ベースの通期業績予想

単位 (百万円/円)	2015年 3月期	2016年 3月期
売上高	25,341	26,300
営業利益	579	750
経常利益	660	800
当期純利益	458	510

○ 単体ベースの通期業績予想

単位 (百万円/円)	2015年 3月期	2016年 3月期
売上高	16,411	16,900
営業利益	557	660
経常利益	628	690
当期純利益	459	420

○ 2016年3月期通期について

- ◆ 2016年3月期の通期業績予想につきましては、2015年11月2日に営業利益予想・経常利益予想の上方修正を行っております。
- ◆ 2015年4月に株式会社サガミチェーン100%出資子会社である「株式会社サガミマスターズ」を設立し、既存事業会社を含め、グループの組織体制を再構築いたしました。事業範囲を明確化し、複数業態の事業別拡大を目指してまいります。
- ◆ 2015年4月に、味の民芸との更なるシナジー推進とグループ業務効率化のため、管理業務をサガミサービスに、購買・製造業務をサガミフードに集約いたしました。
- ◆ 2015年4月にグループ統一の行動規範として、「サガミグループフィロソフィ」を策定いたしました。全員参画経営の実現に向けた取り組みと、有るべき姿の共有を進めてまいります。
- ◆ 2015年6月25日に行われた株主総会にて、新たに社外取締役を1名、社外監査役を1名、選任いたしました。役員11名の内、社外役員が5名という体制となり、ガバナンスの向上に資するものと考えております。
- ◆ 2015年10月に単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。少額投資非課税制度(NISA)に対応するとともに、株式の流動性の向上を意図しております。
- ◆ 高齢化社会が年々進行する中、宅配事業への取り組みは重要性が増しております。2016年3月期では6店舗に追加導入し、グループ全体で計14店舗に拡大する計画の下、進めております。
- ◆ 関東地域は今後も人口の増加が予測されており、また、ASEAN地域は著しい経済発展をしている上、『和食』の人氣も非常に高い地域であります。両地域は中部地域同様に最重要地域と位置付け今後も注力してまいります。
- ◆ 前期に引き続き、お客様起点思考の視座を堅持しながら、店舗の改善を進めると共に、「科学的経営の推進」「コストの聖域なき見直し」「経営基盤の強化」を更に進めてまいります。

※ 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

ディスクロージャー ポリシー (Disclosure Policy)

(1) 基本方針

サガミグループは、「食文化を通じて地域社会に奉仕すること」「企業を通じてお客様に奉仕すること」「『食』と『職』の楽しさを創造する企業」という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

(2) 情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示情報伝達システム(TDnet:Timely Disclosure network)に登録し提供しています。TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れることもあります。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

(3) 業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の事実に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

(4) 沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一ヶ月間前の一定期間を「沈黙期間」としております。この期間は、決算に関する質問への回答やコメントを控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

(5) ディスクロージャー ポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任(CSR)」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャー ポリシーを周知徹底し遵守いたします。